

令和4年度第3回 蓮田市総合振興計画審議会会議録

招集日	令和4年11月11日(金)	
開催場所	蓮田市役所 301会議室	
開催日時	開会 令和4年11月11日(金) 午前 9時30分 閉会 令和4年11月11日(金) 午前 11時00分	
出席状況 (委員)	会 長 中 山 和 久	出席・欠席
	副 会 長 奥 沢 信 男	出席・欠席
	委 員 荒 木 和 之	出席・欠席
	委 員 関 根 香 織	出席・欠席
	委 員 野 田 恵美子	出席・欠席
	委 員 渋谷 昭 子	出席・欠席
	委 員 田 口 桐 子	出席・欠席
	委 員 寺 澤 亜希子	出席・欠席
	委 員 石 川 勉	出席・欠席
	委 員 平 林 光子	出席・欠席
出席職員 (策定委員、 事務局)	【蓮田市総合振興計画策定委員】 市 長 山口 京子 教 育 長 西山 通夫 総合政策部長 山口 亨 総務部長 新井 宏典 環境経済部長 高崎 達也 健康福祉部長 長谷部 幸一 都市整備部長 増田 吉郎 蓮田駅西口行政センター長 飛田 康裕 上下水道部長 小山 猛 会計管理者 山田 則子 消 防 長 新井 智 学校教育部長 槍田 光東 生涯学習部長 小宮 雪晴 議会事務局長 栗原 栄 監査委員事務局長 原 淳司 総務部参事兼秘書課長 高崎 裕美 環境経済部参事兼農政課長 高橋 司 都市整備部参事兼都市計画課長 金子 克明 生涯学習部参事兼社会教育課長 横田 修子	【事務局】 総合政策部調整幹 初野 尚久 政策調整課長 塚本 孝 政策調整課副主幹 齋藤 欣志 政策調整課主事 柏木 渉
傍聴者	1名	

<p>1 開会</p> <p>・ 会長挨拶</p> <p>・ 市長挨拶</p>	<p>開会宣言</p> <p>(中山会長)</p> <p>皆様、おはようございます。</p> <p>本日はお忙しい所、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>本日は総合振興計画の改定版の素案について活発にご審議いただければと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>(山口市長)</p> <p>皆様、おはようございます。本日はお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>言うまでもなく総合振興計画は最上位計画であり議会の議決もある非常に大切な計画でございます。</p> <p>西口再開発ビルや様々な土地区画整理事業については完了したものの、埼玉県所有地の有効活用など、庁内照会や内部会議を経て取り入れた内容もございます。また、前回関根委員よりご指摘いただいた地下鉄7号線についてもはっきりと明示させていただいております。建設促進等、関係各課・関係機関との調整もありますが、蓮田市としては地下鉄7号線の延伸に向けて前向きに取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>皆様におかれましては、それぞれの立場・役割で経験なされたことをぜひともこの会議で忌憚のないご意見をいただければと思っております。本日もどうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
<p>2 議題</p> <p>・ 定足数の確認</p>	<p>(調整幹)</p> <p>続きまして、次第の2「議題」でございます。</p> <p>蓮田市総合振興計画審議会条例第5条第2項に基づきまして、これからの議事進行を中山会長にお願いしたいと存じます。中山会長、よろしくお願いいたします。</p> <p>(議長)</p> <p>議長の役を承りましたので、これより先、本日の議事を進行させていただきます。ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>議事に入る前に、2点確認事項がございます。</p> <p>1点目は会議の成立について、2点目は傍聴者の有無についてです。まず、会議の成立について、事務局から報告をお願いいたします。</p> <p>(調整幹)</p>

会議の成立についてご報告申し上げます。本日は委員10名全員の方がご出席でございますので、蓮田市総合振興計画審議会条例第6条第2項の規定による会議開催のための定足数に達しているため、本日の会議は成立することをご報告申し上げます。

・傍聴者の確認

(議長)

続いて、2点目の確認事項です。

傍聴者の有無について事務局から報告をお願いいたします。

(事務局)

ご報告申し上げます。

本日の審議会について、傍聴を希望する方が1名いらっしゃいます。

(議長)

事務局より、傍聴者がいる旨の報告がありました。原則公開での審議となっており、今回、非公開にすべきと考えられる案件はないと考えておりますが、委員の皆様はいかがでしょう。

《異議無しの声》

それでは、ご異議がございませんでしたので、本日の会議は公開といたします。事務局は、注意事項の説明をお願いします。

《傍聴者入場、資料配付》

(事務局)

傍聴者に傍聴上の注意を申し上げます。

先ほど事務局からお配りいたしました、「傍聴にあたっての注意」をよく読み、遵守していただきたいと存じます。よろしく願いいたします。

(議長)

ありがとうございました。

会議を進めます。

・蓮田市第5次総合振興計画中間見直し(素案)について

(議長)

議題の1つ目、「蓮田市第5次総合振興計画中間見直し(素案)について」を審議いたします。

事務局から説明をお願いいたします。

《事務局から資料2、資料4について説明》

(議長)

ありがとうございました。ご質問、ご意見いかがでしょうか。

(副会長)

1点目に、資料3は見直しの前提となるものだと思いますが、改定版の前文等へ掲載予定でしょうか。市長のあいさつ文とともに掲載した方が良いのではないのでしょうか。

2点目に14ページの「市民意識の動向」は前回と同じ内容でしょうか。先ほどの説明では、今回の市民意識調査については、資料として掲載するとのことでしたが、細かい内容を確認したい方は別として、一般の市民の方には資料はあまり読んでいただけないと思うため、本編の14ページの中に前回調査との変化を記載すべきだと思います。

3点目に、前回策定からこれまでの5年間における最大の社会状況の変化は新型コロナウイルス感染症の蔓延だと思います。新型コロナウイルス感染症の対策について、これまで市は総力を挙げて対応してきており、今後も継続していく必要があると思いますが、施策・主要事業に新型コロナウイルス感染症が記載されておられません。新しい主要事業として、「新型コロナウイルス対策推進事業」等を追加すべきだと思います。

(議長)

1点目につきまして、ページ数や予算が大幅に膨らまないのであれば、掲載しても良いのではないのでしょうか。

(事務局)

本編への記載は予定していませんが、市長あいさつ等の中で改定の過程は記載したいと考えております。

(議長)

ぜひ、ごあいさつの中で触れていただければと思います。

(事務局)

2点目につきまして、14ページの「市民意識の動向」は、策定時に実施したものでございます。こちらの意識調査結果を基に、市民の会議等を経て計画期間が10年間の第5次総合振興計画を策定したため、総合振興計画のもととなったアンケートとして前回の内容を残しております。

一方、今回実施したアンケートにつきましては、アンケートを基に傾向等各課で判断を行い、改定の基礎とはしておりますが、進捗状況の把握が主な目的でございますので、今回の市民意識調査の結果については、

巻末に資料編として掲載したいと考えております。

(議長)

第5章のタイトルが「市民意識の動向」となっており、過去の市民意識というわけではないので、16ページの(8)として今回実施した市民意識調査が巻末資料として掲載されていることを記載していただけると、より分かりやすくなるのではないのでしょうか。

(健康福祉部長)

3点目のご指摘については、66ページに当たるかと思います。確かに新型コロナウイルス感染症の蔓延につきましては、社会経済活動の制限など、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき対策が取られているところでございます。そのため、主要事業No.122の事業名としては、「新型インフルエンザ等対策の整備」としているところでございますが、ご指摘の通り、現実にはワクチンの臨時接種等新型コロナウイルス感染症との戦いそのものが実際の内容でありますため、ご指摘を踏まえて、本計画は、わかりやすいこと、市民に伝わるということが非常に重要であると思います。

その点では、新型コロナウイルス感染症が最大のテーマであると思いますので、表現といたしましては、66ページ(3)の危機管理体制の確立の文章中や表の中の内容にもう少し具体的に盛り込む等、担当課や政策調整課との調整を加えて検討してみたいと思います。

(副会長)

3点目の件について、改定版にはコロナウイルス感染症についての記載がなく、主要事業No.122「新型インフルエンザ等対策の整備」の中で無理やり進行管理等をしていただけたのだと思います。今提案していただいた方法もあると思いますが、新に「新型コロナウイルス対策事業の推進」を追加した方が良いと思うので、それも含めてご検討していただきたいと思います。

市民意識調査について、今回の結果は本編に掲載せず、資料編に掲載するというのでしょうか。改定版はこの5年間の動向をみて作成するものであり、序論の人口の動向や農業生産の状況等については、変化が書かれているので、市民意識の変化についても本編に掲載した方が良いと思います。変化したところは変化した、変化していないところは変化していないで良くて、本編に掲載しても問題ないと思います。

市民には総合振興計画の改定版や概要版は見ていただけますが資料編は見ていただけません。

本編に入れないと変わってないという印象を受けてしまうため、どのような形にするかご検討していただきたいです。

(議長)

せっかく市民意識調査を実施したのに本編に反映しないのは、もったいない気がします。マンパワーの問題等もあるとは思いますが、いかがでしょうか。

(総合政策部長)

現在の14ページの市民意識の動向は基本構想の基礎となったものであり、基本構想に変更の予定はございません。

そのために、同様のアンケートを行い、結果としての進捗状況を把握させていただいたところでございます。ご指摘いただいたように、資料編として掲載した場合には、見る方はかなり少なくなると思います。

5年前の意識調査と今回の意識調査がどのように変化したのかの結果を総括したものを別に資料として作成し皆様にお示ししたいとは考えております。

(副会長)

作成した資料は本文に盛り込むということでしょうか。

(総合政策部長)

あくまで図書としては、本文ではなく資料編の最初の部分という形で対応したいと考えております。

(副会長)

総合振興計画の改定版を見た方が資料編を確認しなくてもわかるような形の工夫をしていただきたいと思います。

資料編まで見なければ市民意向の動向の変化がわからないようであると、市民の方が変わってないと思われてしまうのではないかと思います。

(議長)

14ページだけを見ると、蓮田市は何もしてないと思われてしまう可能性があるため、もったいないと思います。

ぜひ工夫して、市がしっかりと取り組んでいることを市民の方が一目でわかるような記載があると嬉しいと思います。よろしくご検討の方のお願いします。

(平林委員)

114ページの主要事業No.146「スポーツ・レクリエーション普及事業(再掲)」について、「各種団体で構成される実行委員会が実施する「はすだスポーツフェスタ」及び市主催のスポーツ観戦事業、スポーツなどを通

じ、市民スポーツ参加の機会をつくります。」ということですが、スポーツフェスタやスポーツ観戦、スポーツ教室を支援していただき、楽しさを知ってスポーツを始めるきっかけとなるということで、とても良いことだとは思いますが、施設が無ければ技術を向上させることもできないし、スポーツを持続して行うことができないと思います。

蓮田市はパルシーやハストピアができて、蓮田市制施行50周年を記念した市勢要覧に、屋内スポーツが盛んな様子の写真が掲載されておりますが、屋外スポーツの写真は全くございません。

蓮田のテニスコートは5面で土のコートです。大会や教室を行っておりますが、前日に雨が降ってしまうと、当日の天候に問題が無くても、大会やスポーツ教室を中止しなくてはならないのが現状です。

また、ナイター設備もないため、17時になると、大会を終了させなくてはいけないということになっています。総合運動公園の実現が不透明の状況であるため、せめて人工芝のコートとナイター設備があると市民の方もスポーツを楽しんだり、技術の向上を図れるかと思えます。

今、小中学生がテニスをしています。土のコートと人工芝のコートではサーフィスが全く違い、ボールの変化も全く違います。公式の試合では人工芝が一般的なため、蓮田の小中学生はやはり人工芝のコートでのボールの変化に対応することができず、地域の大会を勝ち上がることができない状況が続いているため非常に残念に思います。

私の場合には、白岡市や久喜市、杉戸町でナイター設備を活用したり、人工芝のコートで練習するという状況が続いております。可能であれば、人工芝とナイターの設備に方向転換するという事も考えていただいてはかがかなと思います。

また、各団体が行っている大会やスポーツ教室があると思うのですが、その広報について支援協力をしていただきたいと思います。

大会などの周知にポスターを作成し各課を回り市民に知らせる努力をしておりますが、なかなか労力がかかる割には伝わらず、参加者が集めづらいという状況があります。そのため、「スポーツ振興を支援」と記載していただいているため、スポーツ協会やレクリエーション協会などの団体と密にコミュニケーションを取って、少し広報の方にも力を入れていただけたらと思います。

(生涯学習部長)

黒浜運動公園周辺等の屋外施設の整備につきましてもスポーツ施設の整備事業または拠点づくりの中で総合的に考えていきたいと思えます。

多様な要望が届いており、中には度重なる要望も来ている状況でございます。老朽化等についても把握してございます。更新が必要な個所もあるということも認識してございますので、これから前向きにしっかりと検討していきたいと考えてございます。みどり環境課等関係各課とも

連携しながら再整備等進めて考えていきたいと思ひます。

広報につきましては、ぜひご要望ください。ご協力させていただきたいと思ひます。市の事業等につきましても、今SNSを盛んに使うようになってまいりまして、生涯学習部の事業においてもそれによって参加者や応募者が増えるという状況がございますので、ぜひとも協力させていただきたいと思ひます。

(環境経済部長)

生涯学習部長からもありましたが、環境経済部では、みどり環境課が黒浜公園の管理を所管しております。

ご指摘のありましたテニスコートにつきまして、黒浜公園のテニスコートは、土のコートであり、全天候型ではございません。また、ナイター設備も完備していない状況でございます。

第5次総合振興計画におきましては、81ページに主要事業No. 148「スポーツ施設整備事業」という項目がございますが、テニスコート等については、現在のところ具体的な検討には至っておりません。ご要望・ご意見を承りましたので、総合振興計画に記載のございますとおり、黒浜公園周辺の再整備をはじめ、屋内及び屋外体育施設の新設・整備の調査検討の中で考えてまいります。

(議長)

スポーツもボルダリングやスケートボード等新しいスポーツ施設も必要となり、テニスへなかなか手に回らないのかもしれないかもしれませんが、ぜひご検討いただきたいと思います。

(寺澤委員)

市民意識調査によると、蓮田市は大変住みやすいということで、安心・安全に住めるというまちになっております。また、「とかいなかNo.1」ということが皆様に認識されているようで、多少のご近所付き合いも非常に必要だと思っていられる方もおありまして、それが皆様の意識の中で地域助け合いということで自主防災にもつながってくるかと思ひます。

新型コロナウイルス感染症の影響で自主防災の活動もできていなかったと思ひますが、最近は少々落ち着いてきたということで、こちらの方の活動はどうなっていますでしょうか。

(消防長)

自主防災組織の活動は、コロナ禍ということで、令和2年から自主防災等の訓練は非常に少なくなっております。感染予防として、消防本部で派遣を中止したり、自主防災組織でも依頼を中止したりということで、

非常に減っております。

具体的には、平成31年度は、自主防災会40団体の内、24団体からご依頼があり、消防訓練ということで、避難訓練や消火訓練、AEDの訓練等を実施しておりました。令和2年度には、コロナ禍ということで2件となっており、令和3年度は4件となっております。

令和4年度は12月までに11件を予定しているところですが、新型コロナウイルス感染症の第8波が懸念されておりますので、状況によっては感染対策ということで中止となる可能性もございますが、やはり消防も限りありますので、市民の皆様、自主防災会等が防災意識、知識・技術を身に付けていただくことは非常に重要なことですので感染対策を図りながら少しずつでも行っていこうかと思っております。

寺澤委員につきましては、消防団に入っておりますので、コロナ禍の前であれば、消火訓練や応急手当などと活動させていただいておりますので、また消防団や自主防災組織などいうところから意見を聞きながらできる限り進めていければと思っております。

(総合政策部長)

私の方では危機管理課を所管しておりますので、自主防災組織に関する補助金についてお伝えさせていただきます。コロナ禍にありましても組織としての活動に関しては、少しずつ人が集まらないかたちで実施させていただいております。備品や消耗品等の整備につきましては、コロナ禍になったからといって申請が減ることなく必要なものを申請させていただいて、補助金を交付させて整備を着実に進めていただいているところがございます。実際の活動に関しては消防長の報告した通りでございますけれども、消耗品、備品に関しては、必要なものを少しずつですけれども整備を進めさせていただいているというところがございます。

(議長)

蓮田市の危機管理課には本学もお世話になっており、防災の電池等いただきましてありがとうございます。

また、週末の日曜日には危機管理課より支援いただき、ローリングストックの防災の講演会を実施するため、お時間ある方はぜひ参加ください。よろしく願いいたします。

(野田委員)

先ほど市長もおっしゃったように、何十年もかかった西口の再開発が無事に完了したことを嬉しく思っております。

ハード面では立派なものが建ち、運営も一年以上経ってかなりうまくいっているのではないかと思います。

しかし、私はその中でスタッフとして働いている身として、本音を言

わせていただくと、一人一人は頑張っておりますが、コミュニケーションが取りにくいいため、コミュニケーションが足りていないと思います。

特に私がやっているのは、プレックスキッズの中だけです。行政センターの方はわかりませんが、プレックスキッズは子育て世代包括支援センターと一時預かり、子育てひろばが集約された施設で、ある意味それぞれが独立して頑張っているのですが、お互いにちょっとした細かいことを言いたいが言えない、どこに言えば良いのかわからないという状況です。

私たちはプロではなく素人ではありますが、30年子育て支援に関わってきたノウハウを生かして取り組んでいるつもりなので、このようにした方が良いのではないかという意見はあるのですが、どこに上げたら良いのかわかりません。

プレックスキッズの中で一時預かりと広場事業は民間会社が運営を委託されており、市から派遣された職員の方と少々隔たりがあります。

広場や一時預かりのスタッフが思ったことを民間の運営会社に伝えても、そこから市役所に言ったけど返事が来ないことや、直接伝えられないという何とも言えない虚しさがあります。

私たちは来てくださる親子のことを思い、自分たちの利害関係に関係なく取り組んでいるので、そこでうまくコミュニケーションが取れたら良いと考えております。

せっかく一年半経ったから、後一年半頑張ろうかなと思っているので、そのコミュニケーションを取りたいと思っております。

施設はとてもきれいな場所で、午前5組、午後5組の予約枠が予約開始の日にはすぐに埋まるくらい皆様来てくださるのでうれしいのですが、とにかくあの広さの中で、おもちゃや遊具が大きく、数が多いと感じております。

最近来てくださる年齢層は一歳前後や二歳位の子供が多いのですが、走り回って、色々なところにぶつかってしまうこともあります。良いメーカーのおもちゃは素晴らしいのですが、子供は何でも遊ぶため、そんなにいらなかなと感じております。とはいえ、来てくださる方に楽しい2～3時間だったと思って欲しいと考え、私たちもスタッフとして入っているため、今あるおもちゃで頑張ってみようと思っています。

色々市外から視察にいらしたりして、素晴らしいと言っていたけるが、実は言いたい部分もあるが言えないところが悩みです。

健康に関して、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種券が郵送されてきました。国の方針で4回目から5回目の接種間隔が5か月から3か月に短縮されたことを私たちはホームページ等の情報で知ることができますが、高齢者には情報が行き届いておりません。

いただいた手紙には5か月後から接種可能と書いており、その日付が記載されております。高齢者の方にとって、接種券に記載された日付は

重要であるため、私たちが、3か月間隔があいていれば接種可能であることを伝えても、聞いてもらえません。

印刷や配布により差ができてしまったことは仕方がないと思いますが、3か月经過していれば予約可能であることを皆様に伝わるように告知できていればよかったですと思いました。

接種間隔が短くなったことをわかっている方が、一緒に住んでいたり、近くにいれば教えてあげられますが、そのような方が近くにいない高齢者は、接種券に記載された日付以降でないと接種できないと思っているのではないのでしょうか。

少しでも高齢者の方が感染しないように、早めに接種できたら良いと思いますので、そこはよろしく願いいたします。

(生涯学習部長)

プレックスキッズにつきましては、本当に皆様のおかげで評判良く、視察も増えてきている状況でございます。ただ、組織的には、子供支援課、保育課、委託先という3つがエリアの中で活動している状況でございます。

私のところにはそれぞれの管轄から色々な声が聞こえているところがございます。それぞれのところの課長や委託先の考えはあるかと思いますが、私が統括しておりますので、何かあれば、私にご意見いただければと思います。

私の方では、各エリアの方々からの意見が多くなってきているところですので、風通しを良くする総括的な意見交換の場を設けたいと考えております。早急にそういうものを取り組んでいきたいと思っておりますので、ご協力をお願いしたいと思います。

(健康福祉部長)

今回のワクチン接種につきましては、国の動きに対して、市町村が対応するのが本当に精一杯というのが実情でして、申し訳ないと思っております。

確かに5か月から3か月にワクチンの接種期間が短縮されたということがどんなに重要かということが、大勢の方に伝わっていない実情は認識しているところでございます。

多くの方に一度に発送するのはどうしても紙ベースのもので印刷という手立てになってしまいます。それを補う手立てが、デジタルというところですが、それが高齢者の方には難しいという実情があります。

予防接種補助の期限が3月31日までと延長されましたが、接種者数が思ったよりも伸び悩んでいる理由が、そういうところにもあるのなども思います。色々と工夫をして参りたいです。

お願いになりますが、高齢者の方々に対して、ぜひ身近な方からの支

援をいただきたいと思います。これは本当にマンパワーというしかないと思うのですが、行政がなかなか及ばない点についてはご協力いただければ大変助かります。

(副会長)

接種間隔の変更について、今月の広報に掲載することは可能でしょうか。

(健康福祉部長)

色々な手立て、随時タイミングよく発信していきたいと思います。広報に掲載可能か確認してみます。ありがとうございます。

(総合政策部長)

私の方で、広報を所管しておりますが、広報は15日に発行させていただくために、原稿は既に、だいぶ前に締め切らせていただいております。

既に原文が掲載されている場合には、原文の修正はぎりぎりまで対応させていただくのですが、今月号には時間的に間に合わないと思います。

今後発行する広報に関しては、また調整をさせていただければと思います。よろしくお願いいたします。

(議長)

ホームページ等には掲載されているのであれば、身近な方が教えてあげるのが一番ありがたいので、よろしくお願いいたします。

(野田委員)

身近に教えてくれる方がいない方が問題だと思います。

(議長)

いない方は次の広報を待ついただく必要があるかもしれません。

(野田委員)

接種期間の変更について、頂いたお手紙や広報に別紙で追加したり、防災無線を活用したり、方法は問わないが、若い人との関わりがない方、弱い立場の方にとどのようにして届くのが大事だと思います。

情報は自分で得るべき、電話して聞けばわかると思うかもしれませんが、それが勇気のいることであったり、大変な方もいると思うので、感染リスクということを考えると高齢者に伝わるように何か考えていただければありがたいと思います。

(田口委員)

95ページの農業の分野に関して、色々と修正を入れていただき、とても分かりやすくなったという印象を受けて読ませていただきました。

先日、農商工連携推進協議会で、川口市の視察を行いました。

川口市の方が蓮田市よりさらに都心に近いところにあるのですが、埼玉県という立地を考えると、やはり農業の振興という意味では、観光は外せません。

例えば、川口市にはミカン農園を始められている方がいらっしやって、ブランド化されたミカンがたくさんある中で、埼玉県でなぜミカンを選んだのかという話をしたそうですが、やはり、ブランド品には販売では勝てませんが、ブランド化されたミカンは近くても静岡県産のため、ミカン狩りが埼玉県でできるとなると、近隣の東京都やさいたま市からの来客が期待できます。都心に近いところに位置しており、体験型であるということで、観光が大きなポイントになるということの話を聞いてきました。

温暖化の影響により気温が上昇しており、いろいろな作物を検討したが、うまく定着せず、南の方の植物であるミカンの場合には、うまい具合に育ったことや、ミカンは皆様に好かれており、観光でも人気でミカン狩りに来てくれるという理由で、ミカンが選ばれたというお話もありました。

蓮田市にも、観光農園はあるのですが、農商工連携推進協議会の農業部会としても、どのようにして観光に貢献していけるかを考えていきたいと思いますが、やはり観光客に来てもらえないと意味がないので、サービスエリア等と協力していきたいと思います。

蓮田市は電車でも車でも1時間以内で東京から来られるという非常に良い立地の一方で、自然もいっぱいありますので、農業だけではなく、先ほどアンケート中で黒浜沼周辺の整備もっと進めて欲しいというご意見も拝見しましたが、自然と触れ合う観光地としての魅力はとてもあると思いますので、市の方にもぜひお力添えいただきながら農業部会としてもできることをやっていきたいと思います。

地産地消ということで、こちら記載していただいております、今農業のほうで、地元野菜納入推進協議会がありまして、地場野菜を学校へ届けているという状況でございます。農業者としては、子供たちにおいしい野菜を届けたいので、ぜひ出したいという気持ちもある一方で、2か月前に日程固定で予約する必要があるため、寒い日が続き収穫が遅れてしまうことなどを心配して、つい躊躇してしまいます。

私たちもぜひ学校給食に出してくださいと声掛けをさせていただいておりますが、躊躇してしまふところがあったり、どうしても日程の都合あるとは思いますが、価格が決まる会議がぎりぎりなので、農業法人も出せるか出せないかをぎりぎりまで考えてくださっているというところ

ろがあります。

子供たちに届けるといふところは農業者としてもやりがいとなり、協力したいという気持ちの方はいらっしゃるため、システム的に出しやすくなると良いと思います。

ぜひご検討いただけましたらと思います。よろしく願いいたします。

(環境経済部長)

農商工連携推進協議会との市の関わりについて、先日の川口市の視察の際にも同行させていただき、情報を共有させていただいております。定例的な会議等にも参加させていただき、情報を共有させていただいており、具体的な事業が始まる際にはぜひ連携して調整していきたいと考えております。

先ほどお話のありました農業体験を含めました観光、また、黒浜沼という貴重な財産につきましても、観光資源として活用できるように十分考えてまいりたいと思います。またその際、農商工連携推進協議会と関わる場合がございますら、是非協力しながら進めていければと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

(学校教育部長)

学校給食へのご協力ということで大変にありがとうございます。今貴重なご意見をいただきました地産地消ということは学校給食にとっても大変に重要なことと考えてございます。例えば、蓮田市の梨を活用いたしまして、カレーの中に入れてありのみカレーということで、蓮田市ではそういった給食のメニューに活用させていただいているところもございます。様々な安心安全のためのルールということで、多々あるところかと思うのですが、地産地消がより推進できるように検討して参りたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

(環境経済部参事)

地産地消の推進事業ということで、農政課で関わっている者として、お話をさせていただきます。農政課では、農産物を学校給食に納入している方に対して補助をしているのですが、今現在、納入業者の方は市内の黒浜地区の小中学校6校に対して、納入しているところです。だんだん拡大していければと考えておりました、事業者とも随時打合せをさせていただいているのですが、農産物を納めるというのが、なかなか難しいということは聞いております。学校側の給食の献立の関係等色々あると思いますが、調整をさせていただき、推進できるように進めていきたいと考えておりますのでよろしく願いいたします。

(石川委員)

市民意識調査から高齢者や平野地区の方の要望が非常に切実な要望だと感じました。

高齢者が安心・安全のために非常に不安を感じていると市民意識調査から感じたため、基本理念に「安心＝安心・安全に生活できるまち」、「活きるまち＝地域の活力を高めるまち」等とあるように、高齢者等や弱者、あと平野地区は要望の中身がよその地区と突出しているように感じたので、そのような方々にできるだけ暖かい手を差し伸べていただければよろしいかなという要望でございます。

先ほど各委員からもお話がありましたように、新型コロナウイルス感染症の関係で、非常に国の政策が猫の目のように変わってしまうので、市の対応は非常に大変だったのではないかと思います。

先日、市が主催するスマートフォンの講座がありました。

近くに子供や孫が居れば教わることができるのですが、高齢者はスマートフォンを持っていてもなかなかうまく活用することができません。

実際、私事ですが、私もスマートフォンを持っていますが、LINE等を活用することができておりませんでした。

先日孫が来た時にLINE等を入れてもらい、市からの情報はLINEで来ている状況です。

LINE等を活用して、できるだけ市のPRができれば良いのかなと感じました。

先ほどワクチンの話がありましたが、土日に元荒川で朝のラジオ体操に参加している際に、他の参加者の方が5回目の接種の予約ができるから予約しに行くという話をしていました。

高齢者でもコミュニティができれば、コミュニティ内の一人がLINE等を活用していれば、その方から情報が伝わるような形になります。

高齢者でもスマートフォンを持っていると思いますので、持っているものを活用できるようになると良いと思います。

市の財政もあり、大変だと思いますが、例えば、シルバーセンターの方に協力いただくなど、できるだけ費用と効果を考えて、きめ細かくやっていただければ良いなという感想でございます。

(健康福祉部長)

高齢者の方、生活弱者という言葉がありました。市といたしましては、総合振興計画でいえば、49ページに「基本政策Ⅱ健康で安心して暮らせるまちをつくる」というのを掲げております。その下の方に関連する主な計画として、様々な計画を掲載しているところでございますが、福祉に関する計画各種ございまして、こういった計画を基に、着実に、高齢者の方、障がいをお持ちの方、生活に困窮されているであろう方、経済情勢の影響を大きく受けてしまわれる方等に対する施策については、十分進めて参りたいと考えております。

新型コロナウイルス感染症に関する情報を高齢者の方にお届けするのにスマートフォンも大切なツールであると認識しているところでございます。スマートフォンの講座にご参加いただいております。ありがとうございます。今後も在宅での生活環境の整備事業という観点で、高齢の方々にスマートフォンになるべく触れていただく、活用していただくような一つの手立てとしての講座を数多く重ねて参りたいと考えているところでございます。ご理解賜ればと思います。

(渋谷委員)

スマートフォンについて、携帯電話ショップでは時間がかかるため、教えていただけません。

私の場合は、購入した際に誰に聞けば良いかわからない状況のとき、所属する組織の中で聞くことができましたが、組織などに所属していない一人暮らしや夫婦二人暮らしの高齢者の方の場合には、先ほど野田委員がおっしゃったように誰に聞いて良いかわからないと思います。

スマートフォンについて、あまり詳しくなくても高齢者の方に教えることはできると思うので、もし可能であれば、蓮田は、年配者の割合が多い地域でもありますので、市役所で高齢者の方が聞くことができる時間や課を設けていただいても良いと思いました。

(健康福祉部長)

スマートフォンに対する関心が皆様それぞれ高まっているという風に受け止めました。それは今もう既にお使いの方だけではなく、今後お困りの方に対する関心が向くことが必要なのかなと思いました。蓮田市の地域性でいえば、平野地区の方面ですと、どちらかという人口が少ない、また高齢の方が多いという実情については、福祉サイドの方で認識しているところでございます。具体的にスマートフォンの活用については、スマホ教室という名称ではございませんが、スマートフォンに触れていただく機会として、来年も社会福祉協議会に委託の範囲で、3回程度の開催を現在予定しているところでございますので、まずは周知に努め、その上でぜひ多くの方にご参加願えればと思います。色々な課題を捉えた中で、高齢の方だけでなく、障がいをお持ちの方、社会的弱者の方に対する支援に努めてまいりたいと思います。

(野田委員)

社会福祉協議会だけだとお年寄りも移動が大変なので、各地域で実施していただきたいと思います。

(健康福祉部長)

先ほどの内容に補足いたします。市から社会福祉協議会に委託しての

事業で、開催場所については、今年度の場合、各地域で開催するようにしております。

(生涯学習部参事)

社会教育課では社会教育の講座の中の一環として公民館でスマホ講座を開いております。今年度については、もう終わってしまったのですが、広報広聴課にご協力お願いいたしまして、スマートフォンに触れてLINEを使ってみようという初心者向けの講座の開催もしています。そういったことを社会教育課の方でも展開しておりますので、周知を図りながらまた続けて参りたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

(総合政策部長)

スマートフォンのお話が出ているかと思いますが、高齢者の方についてはスマートフォンを持たない方や携帯電話さえ持たない方もいらっしゃいます。

市としては、デジタルデバイドという形で情報の格差ということで認識させていただいておりますが、非常にアナログな方法ではありますが、「広報はすだ」を、蓮田市で遅ればせながら今年度から全世帯にお届けするような事業を始めてきたところでございます。また、広報については、どうしても1か月に一回という形ですので、情報には限りがありますし、情報としても古い情報になる可能性もございます。ただ届いた方については、確実に内容がわかる形での紙面構成を作らせていただいております。

あとは、リアルな方法としては、テレビ埼玉のデータ放送という手法がございまして、まだ発信している情報は少ないのですが、テレビであれば、どなたでも見ていただける可能性がありますので、テレビ埼玉のデータ放送を毎日一回は見ていただくようにこちらもご案内を差し上げて、必要な情報がそこで見られるように周知させていただければと思っております。

(寺澤委員)

平野地区に住んでおりますが、平野地区は広く、人口も密集しておらず、隣近所が遠い地域となっております。

公民館で力を入れてスマートフォンに関する講座等を開催していただいていると思いますが、平野地区から公民館は非常に遠く、バスに乗って蓮田駅まで出て、駅からまた歩くという作業は大変難しいと思うので、平野地区の中で、ここに行けば情報が得られる、助けてもらえる、親切にしてもらえる場所を一つでもつくっていただけると大変ありがたいと思います。

トレーニングセンターという施設がありますので、昔からお住まいのかたはすごく存じ上げておりますし、ここに行けば市の方もいらっしゃるし、掲示板もあるし、情報もとれるということで、どこか一つそういった場所があるとすごく良いのかなと思いました。

(議長)

平野トレーニングセンターの利活用等は何かございますか。

平野トレーニングセンターでは、トレーニングしかできないのでしょうか。行政サービスは受けられますか。

(副会長)

コミュニティセンターの機能もあります。

(山口市長)

市の出先機関として窓口があります。

(総合政策部長)

平野トレーニングセンターなどの施設を利用していただければと思います。

(関根委員)

104 ページの地下鉄7号線のことについて伺いたいのですが、将来人口推計を見ると、蓮田市だけではないと思うのですが、緩やかに減少していくことが予想されております。そうすると、今いる市民の方の満足度はもちろんのこと他の自治体からの転入等もしっかりと考えていく必要があると思います。

そのような状況の中で、お勤めされていると公共交通機関を利用する機会が非常に多いと思うので、それが転入の大きな要因にもなるのではないかと思います。

その時に、人口増の施策につながってほしいという期待の意味で、地下鉄7号線を誘致することで、この人口減少をどれだけ食い止められるかなど、市への影響、人口増への影響をどの様に推測すると考えて誘致を行うのか。もし将来展望があれば教えてください。

(都市整備部参事)

地下鉄7号線につきましては、平成12年に最初に答申がでまして、その後16年経った平成28年に再度、交通政策審議会から答申がでてございます。その中で地下鉄7号線につきましては、事業性に課題があるため、需要創出につながる沿線開発や交流人口増加に向けた取り組みなどを実施した上で事業計画を検討するというような形で現在進めてご

ざいまして、特に平成12年に国の答申が出てから翌年には、浦和美園から蓮田までの答申のうち、先行整備区間として、浦和美園から岩槻までということで、今現在さいたま市と埼玉県が中心となりまして、事業の方の検討を進めている状況でございます。

ここにきまして、少し動きが活発化してございます。さいたま市の方では来年度、鉄道事業者への事業要請を目指しまして、現在色々と検討を進めている最中でございます。その中で、浦和美園から岩槻までの間に中間駅を設置しようという話がございます、今そちらのまちづくりの検討を進めているということで、地下鉄7号線を誘致するにあたりましては、ただ鉄道が来てくれるというものではなくて、まちづくりをして、人口も増やして、鉄道を利用させていただくといったことをしていく必要があると思っております。蓮田市といたしましても、今後具体的に岩槻まで進んできそうな状況になってきておりますので、今度はその先、岩槻から蓮田までの間でどのようなまちづくりができるのか、人口増加策、あるいはまちの活性化にどうつながるのか、その辺さいたま市や埼玉県と調整しながら誘致に向けて進んでいきたいと考えております。

(荒木委員)

まず社会情勢の変化を踏まえて計画見直しいただきましてありがとうございます。また併せて計画作成当時の市民意識調査と前期五か年過ぎたところでの変化をこういった形で見せていただいてわかりやすいのかなと思います。ありがとうございます。

私からは特に計画の見直しのことではないのですが、今後の参考のために教えていただきたいのですが、本日のお話の中でも社会的弱者の取り組みということにはなると思うのですが、昨今ヤングケアラーの問題が聞かれるようになりまして、蓮田市としては、ヤングケアラーの取り組みなどは何か考えなのか、今お話しできるものがあればお聞かせ願いたいと思います。

(学校教育部長)

ヤングケアラーについて、今お答えができることをお答えできればと思います。ヤングケアラーに関しましては、かなりデリケートな部分もありますので、慎重に進めていかなければならないと考えているところでございます。

まず初めに市内の小学校、中学校の全児童、生徒に対して実態調査を、ちょうど今、進め始めたところでございます。具体的には今月中に実態調査という形で、まずは第一歩ということで進めているところでございます。今後につきましては、実態調査を行い、慎重に子供たちと面談等を行って、その子供たちの状況を良く学校の方で把握し、把握した後にそれからどうするかということも非常に大事なことだと考えておりま

す。

その後につきましても関係他課と十分連携をして、子供たちを救う手立てをより考えていきたいと考えておりますが、まず第一歩として、今月実態調査を行う予定でございます。

(議長)

ちょうどこの間、私の担任の学生がヤングケアラーでして、通信大学なので自宅にいながら勉強できるというそういうシステムもぜひ活用して行って欲しいと思っています。

では、他にご質問等がなければ議題1についての審議は以上で終了いたします。

本日は、大変活発な意見交換をしていただき、ありがとうございました。委員の皆様からの意見等を踏まえ、執行部は引き続き、第5次総合振興計画の着実な実施と5年目の見直し作業に、ご努力いただきますようお願いいたします。

これで、本日の議事は全て終了いたしました。会議進行にご協力いただき、ありがとうございました。議事進行を事務局にお返しします。

3 その他

(調整幹)

中山会長、ありがとうございました。続きまして、次第の3「その他」に移ります。

事務局からご連絡がございます。政策調整課長より申し上げます。

(事務局)

次回会議の開催時期ですが、1月30日(月)午後3時を予定しております。よろしくお願ひいたします。

また、議事録等や変更の案について議員の皆様には送付したいと思ひますので、ご確認の程よろしくお願ひいたします。

また、本日、委員の皆様には要覧の方をお配りしております。こちらは市制施行50周年記念の記念式典で配ったものでございます。こちらもよろしくお願ひいたします。

(調整幹)

続きまして、次第の4「閉会」でございます。

奥沢副会長から閉会のごあいさつを頂きたいと存じます。

奥沢副会長よろしくお願ひします。

4 閉会

(副会長)

本日は大変熱心な御議論ありがとうございました。事務局の方も期間

が短い中で色々大変だと思いますが、本日出された意見を十分取り入れて、修正案を作成していただき、手続きを進めていただきたいと思います。本日は、大変ありがとうございました。

(調整幹)

以上で令和4年度 第3回蓮田市総合振興計画審議会を全て終了いたします。ありがとうございました。